



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第319号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113
発行者／山口 浩司 編集責任者／菌田 明広 発行日／平成28年10月1日 印刷所／小林クリエイト(株)

10月号の内容



◆ 静岡県臨床検査精度管理調査 中間報告	…… 1～10
◆ 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会のお知らせ	…… 10
◆ 「日臨技精度保証施設認証制度」の申請について	…… 10
◆ 会員投稿	…… 11
◆ 「検査と健康展」開催のお知らせ	…… 12
◆ 研修会終了報告	…… 12
◆ 研修会・講習会案内研修会・講習会案内	…… 13～19
◆ 平成28年9月・10月・11月行事予定	…… 20
◆ 会員の異動	…… 21



平成28年度 第33回 静岡県臨床検査精度管理調査 中間報告

【臨床化学・免疫血清検査部門】

臨床化学検査項目(酵素系、含窒素系、脂質系、CRP、HbA1c)29項目、免疫血清検査項目(IgG、IgA、IgM、TSH、Free-T3、Free-T4、PSA、HBs 抗原、HCV 抗体)9項目、合計38項目の調査を行いました。例年同様に基幹施設の平均値を目標値とし、A(優)、B(良)、C(可)、D(要確認)の4段階評価を行いました。各項目での評価はほぼ良好でした。評価がDとなった施設に関しては、改善策をとってもらうよう連絡しました。いくつかの施設からは試料の再送付の依頼がありました。

また、今年度からは感染症項目(HBs 抗原、HCV 抗体)も評価対象項目に加えました。再測定で測定値が変わる・陰性化するという事象が発生しましたが、これは試料中に HBs 抗体が含まれていたためと考えられます。しかし、実施要領書には試料の調製保存方法が記載されており、融解後1時間以内に測定した場合陰性化は認められなかったため、評価対象としました(イムノクロマト法は除く)。次年度以降、測定試料の調製には注意を払うが、複数試料の調製や、抗原・抗体を意識してプール血清を作製するのは困難であるため測定に際しては実施要領書の順守をお願いします。

【目標値と許容幅】

項目名	名称	目標値	評価 A 下限	評価 A 上限	評価 B 下限	評価 B 上限	評価 C 下限	評価 C 上限
TP	試料 01	6.56	6.3	6.8	6.2	6.9	6.0	7.1
	試料 02	6.63	6.4	6.9	6.2	7	6.1	7.2
ALB BCP改良 法	試料 01	3.35	3.2	3.5	3.1	3.6	3.0	3.7
	試料 02	3.25	3.1	3.4	3.0	3.5	3.0	3.5
T-BIL	試料 01	0.35	0.1	0.6	0.0	0.7	0.0	0.8
	試料 02	2.40	2.2	2.6	2.1	2.7	2.0	2.8
Glu	試料 01	119.6	116	124	113	126	110	129
	試料 02	135.8	131	140	129	143	125	146
Na	試料 01	143.2	141	146	140	147	139	148
	試料 02	144.6	142	147	141	148	140	149
K	試料 01	5.21	5.0	5.5	4.9	5.6	4.8	5.7
	試料 02	4.59	4.3	4.8	4.2	4.9	4.1	5.0
Cl	試料 01	108.1	106	111	105	112	104	113
	試料 02	106.8	104	109	103	110	102	111
Ca	試料 01	8.91	8.6	9.3	8.5	9.4	8.3	9.6
	試料 02	8.83	8.5	9.2	8.4	9.3	8.2	9.5
IP	試料 01	4.64	4.4	4.9	4.4	4.9	4.2	5.0
	試料 02	3.60	3.4	3.8	3.4	3.8	3.3	3.9
Mg	試料 01	2.25	2.0	2.5	2.0	2.5	1.9	2.6
	試料 02	2.15	1.9	2.4	1.9	2.4	1.8	2.5
Fe	試料 01	67.6	64	71	63	72	62	73
	試料 02	81.5	77	86	76	87	75	88
UN	試料 01	55.55	52.7	58.4	51.6	59.5	49.9	61.2
	試料 02	25.75	24.4	27.1	23.9	27.6	23.1	28.4
Cre	試料 01	5.388	5.11	5.66	5.03	5.74	4.98	5.80
	試料 02	1.128	1.02	1.23	0.92	1.33	0.82	1.43
UA	試料 01	6.86	6.5	7.3	6.4	7.3	6.3	7.4
	試料 02	5.61	5.3	5.9	5.2	6.0	5.1	6.1
AST	試料 01	20.1	18	23	17	24	16	25
	試料 02	170.0	161	179	157	183	153	187
ALT	試料 01	13.5	11	16	10	17	9	18
	試料 02	109.4	103	115	101	118	98	121
LD	試料 01	172.6	167	178	165	181	162	183
	試料 02	325.5	309	342	301	350	292	359
ALP	試料 01	299.5	284	315	277	322	269	330
	試料 02	858.8	815	902	794	924	772	945
GGT	試料 01	43.6	41	46	40	47	39	48
	試料 02	212.6	201	224	196	229	191	234
AMY	試料 01	136.3	129	144	126	147	122	150
	試料 02	145.0	137	153	134	156	130	160
CK	試料 01	121.8	115	128	112	131	109	134
	試料 02	346.8	329	365	320	373	312	382
ChE	試料 01	209.8	199	221	194	226	186	231
	試料 02	198.9	188	209	183	214	179	219

TG	試料 01	101.9	96	107	94	110	93	111
	試料 02	116.5	110	123	108	125	106	127
T-CHO	試料 01	165.1	157	173	155	176	152	178
	試料 02	164.0	156	172	154	174	151	177
HDL-C	試料 03	68.4	64	72	64	73	63	74
LDL-C	試料 03	99.2	94	105	93	106	91	107
HbA1c	試料 24	5.50	5.2	5.8	5.2	5.8	5.0	6.0
CRP	試料 01	2.006	1.90	2.11	1.80	2.21	1.70	2.31
	試料 02	4.753	4.51	5.00	4.39	5.11	4.27	5.23
IgG	試料 01	1419.7	1348	1491	1320	1520	1277	1562
	試料 02	1491.9	1417	1567	1387	1597	1342	1642
IgA	試料 01	303.4	288	319	282	325	273	334
	試料 02	346.4	329	364	322	371	311	382
IgM	試料 01	82.2	78	87	76	88	73	91
	試料 02	94.4	89	100	87	102	84	104
PSA	試料 04	4.462	4.14	4.77	4.01	4.91	3.78	5.13

※C評価幅の上限、下限を超えた場合はD評価となります。

【各項目における評価件数】

D-BIL、TSH、Free-T3、Free-T4 に関しては評価対象外のため記載していません。

名称	試料	全件数	A 件数	B 件数	C 件数	D 件数	対象外件数
総蛋白	試料 01	97	97	0	0	0	0
	試料 02	97	96	1	0	0	0
アルブミン	試料 01	96	80	3	0	0	13 *1
	試料 02	96	79	4	0	0	13 *1
総ビリルビン	試料 01	96	96	0	0	0	0
	試料 02	96	92	3	0	1	0
グルコース	試料 01	99	97	2	0	0	0
	試料 02	99	95	4	0	0	0
ナトリウム	試料 01	87	86	1	0	0	0
	試料 02	87	85	0	1	1	0
カリウム	試料 01	87	87	0	0	0	0
	試料 02	87	86	0	1	0	0
クロール	試料 01	87	84	2	1	0	0
	試料 02	87	85	1	0	1	0
カルシウム	試料 01	87	85	2	0	0	0
	試料 02	87	86	1	0	0	0
無機リン	試料 01	72	72	0	0	0	0
	試料 02	72	72	0	0	0	0
マグネシウム	試料 01	36	36	0	0	0	0
	試料 02	36	36	0	0	0	0
血清鉄	試料 01	78	78	0	0	0	0
	試料 02	78	76	2	0	0	0

尿素窒素	試料 01	96	95	1	0	0	0
	試料 02	96	94	1	1	0	0
クレアチニン	試料 01	98	98	0	0	0	0
	試料 02	98	98	0	0	0	0
尿酸	試料 01	98	98	0	0	0	0
	試料 02	98	97	1	0	0	0
AST	試料 01	97	97	0	0	0	0
	試料 02	97	94	2	1	0	0
ALT	試料 01	97	97	0	0	0	0
	試料 02	97	92	3	0	2	0
LDH	試料 01	97	95	1	1	0	0
	試料 02	97	96	1	0	0	0
CK	試料 01	87	85	1	1	0	0
	試料 02	87	82	4	1	0	0
ALP	試料 01	96	93	2	1	0	0
	試料 02	96	94	2	0	0	0
γ-GTP	試料 01	97	96	0	0	1	0
	試料 02	97	95	2	0	0	0
Ch E	試料 01	84	84	0	0	0	0
	試料 02	84	83	1	0	0	0
AMY	試料 01	94	93	0	0	1	0
	試料 02	94	92	1	0	1	0
中性脂肪	試料 01	98	97	1	0	0	0
	試料 02	98	95	3	0	0	0
総コレステロール	試料 01	97	96	1	0	0	0
	試料 02	97	96	1	0	0	0
HDL-コレステロール	試料 03	96	96	0	0	0	0
LDL-コレステロール	試料 03	93	93	0	0	0	0
CRP	試料 01	93	76	14	3	0	0
	試料 02	93	86	5	1	1	0
HbA1c (NGSP 値)	試料 24	94	93	0	0	1	0
IgG	試料 01	31	31	0	0	0	0
	試料 02	31	30	0	1	0	0
IgA	試料 01	31	31	0	0	0	0
	試料 02	31	29	2	0	0	0
IgM	試料 01	31	31	0	0	0	0
	試料 02	31	30	0	1	0	0
PSA	試料 04	54	49	4	0	1	0
HBs 抗原	試料 04	65	62	0	0	0	3 *2
HCV 抗体	試料 04	65	65	0	0	0	0

*1：ALBの対象外はBCG法、BCP法となります。

*2：HBs抗原の対象外はクロマト法となります。

【血液部門】

参加施設全体集計結果（血算）

	WBC		RBC		Hb		Ht		MCV		MCH		MCHC		Plt	
	試料24	試料25	試料24	試料25												
MEAN	4.5	1.4	4.61	1.49	13.7	4.4	39.5	12.9	85.6	86.5	29.8	29.7	34.8	34.4	206.2	66.3
MAX	4.7	1.6	4.89	1.57	14.3	4.7	42.4	13.8	91.2	90.5	30.8	32.3	36.6	36.4	236.0	78.0
MIN	4.1	0.9	4.46	1.44	13.3	4.3	37.2	12.1	82.7	82.1	28.9	28.2	32.1	31.2	185.0	52.0
SD	0.13	0.11	0.07	0.03	0.18	0.10	1.02	0.34	2.01	1.94	0.42	0.68	0.96	0.87	10.14	3.54
CV	2.87	7.78	1.48	1.71	1.31	2.18	2.60	2.62	2.35	2.25	1.42	2.29	2.76	2.54	4.92	5.34
臨床的許容限界上限	4.7		4.79		14.2				89.0						220.6	
臨床的許容限界下限	4.3		4.43		13.3				82.2						191.7	
+2SD	4.8	1.6	4.75	1.54	14.1	4.6	41.5	13.5	89.6	90.4	30.7	31.1	36.8	36.2	226.5	73.3
-2SD	4.2	1.2	4.47	1.44	13.4	4.2	37.4	12.2	81.6	82.6	29.0	28.4	32.9	32.7	185.9	59.2

参加施設全体集計結果（凝固）

	PT						ISI値	APTT		Fib	
	試料21			試料22				試料21	試料22	試料21	試料22
	秒	%	INR	秒	%	INR		秒	秒		
N	72	69	72	72	69	72	72	70	70	60	60
MAX	13.85	117.70	1.06	29.70	36.20	2.76	1.73	34.30	58.80	316	422
MIN	10.50	90.00	0.77	18.05	19.40	1.99	0.97	22.55	34.80	207	289
MEAN	11.59	101.13	0.99	24.19	28.44	2.31	1.23	29.56	47.26	246.30	344.28
SD	0.65	6.39	0.04	4.08	4.54	0.15	0.29	2.75	5.76	20.88	28.88
CV	5.62	6.32	4.37	16.87	15.97	6.50	23.44	9.30	12.18	8.48	8.39
+2SD	12.89	113.91	1.08	32.36	37.52	2.61	1.80	35.05	58.77	288.06	402.05
-2SD	10.28	88.35	0.90	16.03	19.35	2.01	0.65	24.06	35.75	204.54	286.52

《補正後集計結果》

	PT						ISI値	APTT		Fib	
	試料21			試料22				試料21	試料22	試料21	試料22
	秒	%	INR	秒	%	INR		秒	秒		
N	70	65	70		68	68		66	65	58	58
MAX	12.70	113.20	1.06		36.20	2.58		33.30	57.20	272	399
MIN	10.50	90.00	0.92		21.40	2.05		23.80	36.20	207	289
MEAN	11.52	100.17	1.00		28.57	2.31		29.64	47.81	244.09	341.72
SD	0.55	5.22	0.03		4.44	0.13		2.44	4.98	17.41	25.81
CV	4.76	5.21	3.32		15.54	5.57		8.23	10.42	7.13	7.55
+2SD	12.62	110.61	1.06		37.45	2.26		34.52	57.77	278.90	393.34
-2SD	10.43	89.72	0.93		19.69	2.05		24.76	37.85	209.27	290.11

（形態）

試料 27 は、EBウイルス感染による伝染性単核球症の症例を取り上げた。異型リンパ球の指摘ができるか（正常リンパ球・単球との区別）標本の核影がわかり、標本作製の工夫の知識があるかどうか、更に、検査データや標本からウイルス感染を指摘できるかどうかを目的とした。

試料 28 は、骨髄異形成症候群（MDS RAEB-2）の症例を取り上げた。芽球様細胞や血球の形態異常を指摘できるか（低分葉好中球、脱顆粒好中球、巨大血小板等）更に検査データや標本から、MDSを指摘できるかどうかを目的とした。

【微生物部門】

【試料 31】顕微鏡検査

中心静脈カテーテル留置中の入院患者の血液から分離された *Staphylococcus epidermidis* を試料とする。血液培養陽性培養液(ホルマリン固定)を配布し、各施設にて標本を作製、グラム染色を実施してもらう。染色所見および臨床へのコメントを回答。ブドウ球菌の判断とカテーテル感染の推定が出来るかを調査目的とした。

全施設(46/46 施設)がグラム陽性球菌と回答し、良好な結果であった。しかし、ブドウ球菌などの形態的特徴を記載した施設は 22/46 施設(47.8%)と低い回答結果であった。

表 4-4-1-1 グラム染色

回答結果	評価	施設数
グラム陽性球菌(ブドウ球菌を推定)	A	22 (47.8%)
グラム陽性球菌(菌種の推定なし)	B	24 (52.2%)
グラム陽性球菌以外	C	0 (0%)
合計		46

表 4-4-1-2 臨床へのコメント (複数回答あり)

コメント内容	施設数
形態からブドウ球菌が疑われます。	22 (47.8%)
中心静脈カテーテル関連血流感染症 (CLABSI) が疑われます。	13 (28.3%)
MRSA または MRCNS の可能性があります。	6 (13.0%)
検出菌による血流感染症が疑われます。	2 (4.3%)
コメント無し	19 (41.3%)

【試料 32】同定検査

Salmonella sp.、*Escherichia coli*、*Klebsiella pneumoniae*、*Enterococcus faecalis* の 4 菌種を混合した試料を輸送用培地(シードスワブ)にて配布し、分離技術および同定精度を調査目的とした。

全施設(39/39 施設)が *Salmonella sp.* と回答し、全施設評価 A(100%)であった。今回の調査では、腸内常在菌が存在する中で *Salmonella sp.* の検出が全施設できており、検査の目的によって施設ごとに報告対象とする菌種は異なるものの、誤同定した施設は認められず良好な結果であった。

表 4-4-2-3 回答のあった同定菌種

回答結果	施設数
<i>Salmonella sp.</i>	39 (100%)
<i>Escherichia coli</i>	17 (43.6%)
<i>Klebsiella pneumoniae</i> (<i>Klebsiella sp.</i> も含む)	16 (41.0%)
<i>Enterococcus sp.</i> (<i>Enterococcus faecalis</i> も含む)	11 (28.2%)

表 4-4-2-4 臨床へのコメント (複数回答あり)

コメント内容	施設数
サルモネラが検出されたため、就業制限が必要になります。	10 (25.6%)
食中毒の原因菌が検出されました。	6 (15.4%)
食中毒が疑われる場合は、保健所への届け出が必要となります。	2 (5.1%)
大腸菌は EHEC ではありませんが、その他の病原因子に関しては不明です。	2 (5.1%)
腸管毒素原性大腸菌 (ETEC) の保菌者です。	1 (2.6%)
抗菌療法を行う場合は、連続 2 回培養での陰性確認をお勧めします。	1 (2.6%)
コメント無し	15 (38.5%)

【試料 33】同定・薬剤感受性試験1

髄液からの検出という背景で、*Streptococcus pneumoniae* を輸送用培地(シードスワブ)にて配布し、各施設の同定方法、薬剤感受性試験、臨床へのコメントを調査目的とした。

同定検査は、34/35 施設(97.1%)が *Streptococcus pneumoniae* と回答し、良好な結果であった。また、侵襲性肺炎球菌感染症として届出のコメントの記載があったのは 19/35 施設(55.9%)、臨床へのコメントがない施設は 16/35 施設(44.1%)であった。

感受性検査は、PCG および MEPM でそれぞれ 1 施設が評価 C となったが、それ以外は評価 A であり、概ね良好な結果であった。感受性検査の未実施は、PCG・CTX・CTRX で 1 施設、MEPM・VCM で 2 施設あったため、評価対象外とした。CLDM の判定において 2 施設で判定値の回答が欠落しており、評価対象外とした。また、CLDM の結果未入力 は 5 施設認められた。

表 4-4-3-1 同定検査

回答結果	評価	施設数
<i>Streptococcus pneumonia</i> (侵襲性肺炎球菌感染症として届出のコメント有り)	A	19 (55.9%)
<i>Streptococcus pneumoniae</i> (届出のコメント無し)	B	15 (41.2%)
α - <i>Streptococcus</i>	C	1 (2.9%)
合計		35

表 4-4-3-2 薬剤感受性検査

抗菌薬	回答結果				評価	
	S	I	R	未記入		
PCG			31		93.9%	A
	1				3.0%	C
				1	3.0%	対象外
CTX	26				96.3%	A
				1	3.7%	対象外
CTRX	29				100%	A
MEPM	27				90.0%	A
			1		3.3%	C
				2	6.7%	対象外
VCM	31				93.9%	A
				2	6.1%	対象外
CLDM	22				75.9%	A
				7	24.1%	対象外

表 4-4-3-9 臨床へのコメント (複数回答あり)

コメント内容	施設数
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)です。	15 (42.9%)
侵襲性肺炎球菌感染症であった場合 5 類感染症の対象です。保健所への 7 日以内の届け出が必要です。	15 (42.9%)
5 類感染症のため、届け出が必要です。	5 (14.3%)
ペニシリン耐性の肺炎球菌です。5 類感染症として保健所への届け出が必要です。	4 (11.4%)
髄膜炎の起炎菌です。	1 (2.9%)
ICT 委員会へ報告してください。	1 (2.9%)
標準予防策の徹底をお願いします。	1 (2.9%)
コメント無し	5 (14.3%)

【試料 34】同定・薬剤感受性試験2

血液培養からの検出という背景で、*Klebsiella pneumoniae*(AmpC 産生)を輸送用培地(シードスワブ)にて配布し、同定菌名、薬剤感受性試験、臨床へのコメントを調査目的とした。

同定検査は、全施設が *K.pneumoniae* と回答し、良好な結果であった。

感受性検査は、結果未記入の施設は除き CTX および MEPM は全施設が評価 A で、CFPM は 25/34 施設 (73.5%)あった。臨床へのコメントとして AmpC 型 β ラクタマーゼ産生菌の可能性を示唆したのが 9/35 施設 (25.7%)、院内感染対策として接触予防策が必要な菌と回答したのが 9/35 施設(25.7%)であった

表 4-4-4-1 同定検査

回答結果	評価	施設数
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	A	35 (100%)
合計		35

表 4-4-4-2 薬剤感受性検査

抗菌薬	回答結果				評価
	S	I	R	未記入	
CTX			27		96.7% A
				1	3.6% 対象外
CFPM	25				73.5% A
			8		23.5% C
				1	3.0% 対象外
MEPM	32				100% A

表 4-4-4-6 臨床へのコメント (複数回答あり)

コメント内容	施設数
検出菌は AmpC 型 β ラクタマーゼ産生菌の可能性があります。	9 (25.7%)
院内感染対策上重要な菌であるため、接触予防策をお願いします。	9 (25.7%)
検出菌は ESBL 産生菌です。	1 (2.9%)
検出菌は ESBL と AmpC の過剰産生が疑われます。	1 (2.9%)
ESBL 産生菌ではないがセファロスポリナーゼ産生であり、耐性菌として扱うことが望ましい。	1 (2.9%)
コメント無し	19 (54.3%)

【輸血検査部門】

ABO 血液型、RhD 血液型、不規則抗体について 2 試料を配布した。到着後速やかに実施方法に従い、自施設で日常行っている検査手順や再検基準に基づいて精査を進める方針として、可能な限り最終判定まで実施し、報告することとした。

配布試料の解説

検体は、血液センターから譲渡して頂いた RBC-LR、FFP-LR を用い、それぞれ別々の容器に 3ml ずつ分注した。

試料 41 は、A 型・RhD 陰性・不規則抗体スクリーニング陰性検体である。

試料 42 は、A 型・RhD 陽性と O 型 RhD 陽性の混合血であり、不規則抗体スクリーニング陽性で抗 E 抗体の特異性を認める。

試料 No	ABO 血液型	RhD 血液型	不規則抗体
41	A 型	RhD 陰性	陰性
42	部分凝集 (mf)、ウラ A 型	RhD 陽性	陽性 (抗 E)

【病理検査部門】

病理部門として第 11 回目となる今回は、上皮細胞の主たる構造であるサイトケラチンを認識する抗体のうち、原発不明癌における原発巣推定などに用いられる Cytokeratin7 抗体、Cytokeratin20 抗体（以下 CK7、CK20）ならびに汎用性の高い上皮マーカーである Cytokeratin AE1/AE3 抗体（以下 AE1/AE3）の 3 抗体について調査を行った。

1. 評価判定結果について

1-1. CK7 染色について

① 標本回収率（抗体保有率）

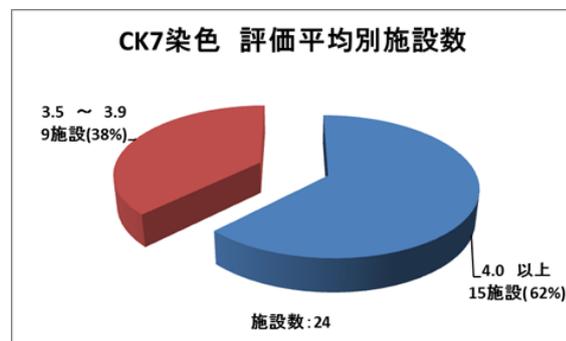
CK7 染色標本の回収率は、参加施設 25 施設中 24 施設（96%）であった。

② 結果集計

CK7 染色

マイナス評価判定別

評価	施設数	(%)
A評価	20	83
B評価	4	17
C評価	0	0



CK7 染色 まとめ

- ・全施設評価 3.5 以上となり、良好な結果が得られた。

1-2. CK20 染色について

① 標本回収率（抗体保有率）

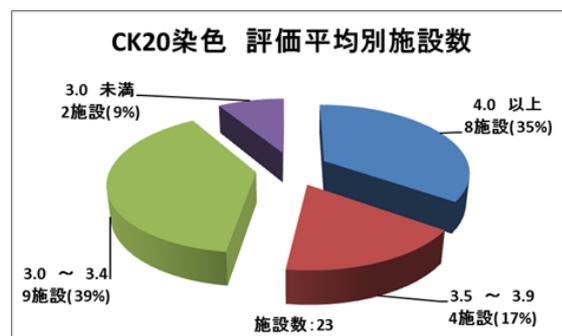
CK20 染色標本の回収率は、参加施設 25 施設中 23 施設（92%）であった。

② 結果集計

CK20 染色

マイナス評価判定別

評価	施設数	(%)
A評価	23	100
B評価	0	0
C評価	0	0



CK20 染色 まとめ

- ・高評価～低評価まで施設により染色性の差が大きい結果となった。
- ・評価困難と評価された施設が 2 つあり、早急な是正が必要である。

1-3. AE1/AE3 染色について

① 標本回収率（抗体保有率）

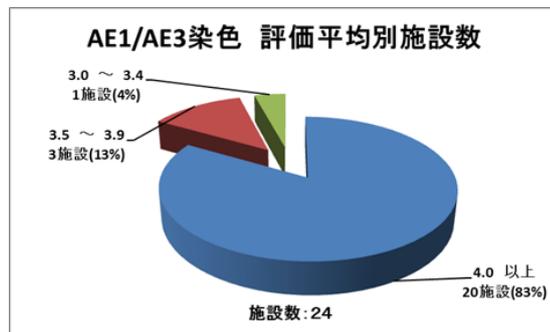
AE1/AE3 染色の標本回収率は、参加施設 25 施設中 24 施設（96%）であった。

② 結果集計

AE1/AE3 染色

マイナス評価判定別

評価	施設数	(%)
A評価	23	96
B評価	1	4
C評価	0	0



AE1/AE3 染色 まとめ

・評価 3.5 以上の施設が 96%を占め、比較的良好な結果が得られた。

お知らせ

平成 28 年度 **静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会**は
11月23日（水・祝）9：30より「あざれあ」にて開催します。
多くの会員・賛助会員の参加をお願いいたします。

日臨技会員カード（2012 年 4 月以降発行のもの）を必ず持参してください。

平成 28 年度「**日臨技精度保証施設認証制度**」の申請について（ご案内）
申請書類受付期間：平成 28 年 **10月3日（月）**～**11月30日（水）**

※ 詳細については日臨技ホームページをご覧ください。

私はとにかく音楽が好きで、職場では「ライブとフェスが好き」というイメージがすっかり定着しています。たくさんのフェスに参加した結果、逆に段々とまた行きたいな、と思う所は厳選されてきた気がします。今は完全に“フジロックフェスティバル”という非日常空間の虜になっています。今年もフジロックに合わせて夏休みをいただき、参加してきました。

フジロックは毎年7月に金、土、日の3日間、前夜祭を含めると計4日間開催されています。「フジロック」とは名ばかりで開催地は富士ではなく新潟県苗場スキー場、車で圏央道を経由して月夜野まで行き、さらに下道を1時間走り、片道6時間かけて行かなければなりません。併設するホテルで泊まることも出来ますが、私の場合はキャンプサイトでテント泊。前夜祭から最終日まで4泊5日テント泊となかなか過酷なもの。一晩中どこかで音楽が鳴っていて、たとえどれだけ夜更かししても朝はテント内が暑くて強制的に起きてしまう・・・本当に当直室含めどこでもぐっすり眠れる自分自身に驚きです。

今年のフジロックは20周年のメモリアルイヤーで、第1回開催と同じくレッドホットチリペッパーズがメインアクトでした。しかし、私たちはというと「今が一番大浴場が空いているはずだ!」と見向きもせず大浴場へ。混雑時の大浴場は入場待ち30分以上、入ってからもさらに洗い場待ちのため全裸で並ぶ・・・なかなか驚きの光景です。大小様々なステージが10以上あるフジロックでは、会場間の移動は40分以上かかる場合もあります。(ちなみに私は今年、4日間通じて84km歩きました。)真夏を感じたかと思えば、大雨になったり、夜は寒い、そんな過酷なところの何が良いの?とよく言われますが、書いていて自分でも分からなくなっています。



静岡県立総合病院検査部 後藤千絵さん

山や川などの大自然の中にある会場の雰囲気や、毎年投票を行い人気のある店のみが並ぶ美味しいフェス飯、そしてなんといっても青空の下で音楽を聴いて身体を揺らしながら飲むビールが美味しいのなんの。私はフジロックの「ありえないほど現実から離れた非日常」そんなところが好きなのだと思います。やはり私はとにかく音楽が好きです。音楽という趣味を通じて職場上では知り合えないような人と知り合いたくさんの輪が広がりました。「趣味があっていいね」と一言で片付けられない、「こういう考え方もあるのだな」と視野を広げられることが趣味を持ってよかったことだと思います。たまには現実を忘れる瞬間も大切にしたい

ですね。

「検査と健康展」 開催のお知らせ

11月6日(日) 10:30~15:30

セントラルスクエア静岡内 アピタ静岡

1階 センターコート(催事スペース)にて開催

国民の皆様の健康維持のため、定期的な健康診断の重要性を啓発するとともに、臨床検査技師についての理解を深めていただくため「検査と健康展」を開催することになりました。

検査項目 : 頸部動脈エコー、体成分分析、静脈可視化

展示項目 : 血液・病理標本などの検鏡、パネルにて検査技師の仕事を説明

配布物 : リーフレットなど

一般の方、技師会員ともに参加無料ですのでお誘いあわせの上お越し下さい!

研修会終了報告

事業名	平成28年度 第2回生物化学分析部門研修会
開催日	平成28年9月10日(土曜日)
会場	独立行政法人 静岡県立総合病院 6階 つつじホール講堂
参加人数	51人
内容	<p><尿中生化学検査・自己免疫疾患についてネットでは得られない知識を習得する。>をテーマに講演を2部開催しました。</p> <p>講演1「尿中電解質測定の有用性について」</p> <p>講演2「自己免疫疾患と自己抗体検査について」</p> <p>数年前から依頼項目が飛躍的に倍増している話題の尿中生化学検査・自己免疫疾患において、メーカーの視点、ユーザーからの問い合わせの多い観点に着目して講演して頂きました。新人技師からベテラン技師まで納得出来る内容を網羅し日常業務だけでなく緊急検査業務でも役立つ事となり院内に向けて発信するアピールポイントの機会にもなりました。</p>



臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 28 年 9 月 15 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。
各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。

平成 28 年 (10) (敬称略)

<p>平成 28 年 10 月 1 日 (土) 14 : 30 ~ 17 : 00</p> <p>静岡市立静岡病院 12F 講堂</p> <p>会 員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p>平成 28 年度 第 2 回 臨床生理部門研修会</p> <p><テーマ> 心エコー検査の ABC</p> <p>14 : 00 ~ 受付 14 : 30 ~ 15 : 30 講義 1 初心者のための心エコー講座 15 : 30 ~ 15 : 40 休憩 15 : 40 ~ 16 : 40 講義 2 症例から考える～中級編～ 講師 余語 保則先生 トヨタ記念病院 臨床検査科技師長</p> <p>心エコー検査の経験年数が短い方・基礎を再確認したい方に役立つ内容です。是非ご参加ください。</p> <p>参加予約は不要です。当日直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160016688) 専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>聖隷沼津病院 検査科 井原 綾那</p> <p>TEL 055-952-1023 (内線 5515)</p>
<p>平成 28 年 10 月 15 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡赤十字病院 2 号館 4 階 第一会議室</p> <p>会 員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p>平成 28 年度 第 2 回 臨床微生物部門研修会</p> <p><テーマ> 耐性菌の基礎知識の習得および微生物検査の基礎から最新情報を学ぶ</p> <p>13 : 45 受付</p> <p>14 : 00 ~ 15 : 00 『耐性菌の基礎知識と検査試薬について』 関東化学(株) マイクロバイオ課 課長 金子 孝昌 先生</p> <p>15 : 00 ~ 15 : 15 休憩</p> <p>15 : 15 ~ 17 : 00 『知的微生物検査のすすめ』 東北大学病院診療技術部 検査部門 豊川 真弘 先生</p> <p>事前申し込み不要 当日直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160018017) 専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>中東遠総合医療センター 上村 桂一</p> <p>TEL 0537-22-5555 (内線 2214)</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>平成 28 年 10 月 22 日 (土) 13 : 00 ~ 16 : 00</p> <p>静岡市立静岡病院 12F 講堂</p> <p>会 員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 3 回 臨床血液部門研修会</p> <p><テーマ> 血液分野の基礎について自信をつけよう！</p> <p>1. 凝固検査に影響を及ぼす要因について ～ 採血から DOACs まで ～</p> <p style="text-align: center;">アイエル・ジャパン株式会社 血液凝固学術部 阪田 敏幸 先生</p> <p>2. 骨髓像の基礎 ～ 所見用紙のレイアウトに沿った 基礎的な見方・所見のとり方 ～</p> <p style="text-align: center;">聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部 血液検査室 井本 清美 技師</p> <p>今回は、第一講演に凝固検査の最近の話題ということで、採血から DOACs まで、凝固検査に影響を及ぼす要因について講演いただきます。</p> <p>第二講演では骨髓像の基礎ということで、これから骨髓像を始める方や、見ているが自信がない！という方に、一般的な所見用紙の書き方をレイアウトに沿った形で講演いただきます。 新しく血液担当になられた方も是非御参加下さい。</p> <p>事前申し込み不要。当日、直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160014068) 専門-20 点</p> <p style="text-align: center;">【問い合わせ先】</p> <p>独立行政法人 地域医療機能推進機構 三島総合病院 大橋 勝春</p> <p style="text-align: right;">TEL 055-975-5545</p>
--	--	--

臨床検査関連研修会・講習会 (3)

<p>平成 28 年 11 月 5 日 (土) 13 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>11 月 6 日 (日) 9 : 00 ~ 12 : 30</p> <p>〒436-0011 掛川市満水 2000 Tel : 0537-24-1111 ヤマハリゾートつま恋 コンベンションホール</p> <p>【受講料】 宿泊込(相部屋) 23,000円 宿泊込(個室) 26,000円 宿泊なし (懇親会あり) 15,000円 講義のみ 10,000円</p>	<p style="text-align: center;">中部圏支部 第 23 回 臨床微生物部門研修会</p> <p><テーマ> 「感染症治療への貢献～微生物検査室のパラダイム シフト～」</p> <p>≪ 1 日目 ≫ 11 月 5 日 (土) 12 : 30 受付 13 : 00 開講式／オリエンテーション 13 : 10 講演1 『菊川市立総合病院における微生物検査の変遷』 講師：菊川市立総合病院 臨床検査室 西尾 弥生先生</p> <p>14 : 20 講演2 『筋？菌トレ』 講師：東京医科大学 微生物学教授 大楠 清文 先生</p> <p>16 : 00 特別講演『臨床医が求める微生物検査』 講師：兵庫医科大学 感染制御学 主任教授 竹末 芳生先生</p> <p>17 : 00 チェックイン 18 : 00 懇親会 21 : 00 ~ 夜の部 (自由討議)</p> <p>≪ 2 日目 ≫ 11 月 06 日 (日) 8 : 30 受付 9 : 00 講演3 『未定』 講師：愛知県厚生連 医療事業部 医療課部長 犬塚 和久先生</p> <p>10 : 00 講演 4 『今までの経験の中で 後世に伝えたいこと』 講師：西山 泰暢 先生</p> <p>11 : 10 講演 5 『AmpC を中心とした耐性菌』 講師：神戸大学医学部附属病院 検査部 感染制御部 副部長 中村 竜也先生</p> <p>事前申し込みが必要となります。 詳細は平成 28 年度日臨技中部圏支部研修会「第 23 回 臨床微生物部門研修会」開催案内をご覧ください。</p>	<p>No. (160014226) 専門-30 点</p> <p>【問い合わせ先】 中東遠総合医療センター 上村 桂一</p> <p>Tel 0537-22-5555 (内線 2214)</p> <p>microbio@ chutoen-hp.shizuoka.jp</p>
--	---	---

臨床検査関連研修会・講習会 (4)

<p>平成 28 年 11 月 12 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡市産学 交流センター・静岡市中 小企業支援センター B-nest (ビネスト) プ レゼンテーションル ーム</p> <p>会 員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 2 回 臨床一般部門研修会</p> <p><テーマ> 臨床側から見た尿検査、及び円柱についての知識更新</p> <p>13 : 30 ~ 受付開始</p> <p>14 : 00 ~ 15 : 00</p> <p style="text-align: center;">『尿検査の基礎と最新情報』</p> <p style="text-align: center;">シーメンスヘルスケア・データイグノスティクス株式会社 POC 事業本部 宮澤 俊郎先生</p> <p>15 : 00 ~ 15 : 20 休憩</p> <p>15 : 20 ~ 16 : 40</p> <p style="text-align: center;">『硝子円柱の真事実！生成条件とその病態解析』</p> <p style="text-align: center;">藤田保健衛生大学</p> <p style="text-align: center;">医療科学部 臨床検査学科 星 雅人先生</p> <p>16 : 40 ~ 17 : 00 質疑応答</p> <p>最初は、臨床医が尿検査で臨床検査技師に求めていることを中心にシーメンスヘルスケア・データイグノスティクス株式会社の宮澤俊郎先生に、次に円柱の生成機序や各種円柱の判別について藤田保健衛生大学の星雅人先生に御講演していただきます。</p> <p>尿検査の基礎的な知識の習熟だけではなく、臨床側が尿検査に何を求めているのか興味のある方々や、円柱について知りたいことがある方など是非とも御参加ください。</p> <p>事前申し込み不要。 当日、直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160016576) 専門-20 点</p> <p style="text-align: center;">【問い合わせ先】</p> <p>株式会社 LSI メディエンス 浜松日赤病院 メディエンス検査室</p> <p style="text-align: center;">山村 一志</p> <p>TEL 053-584-1232</p>
--	--	--

臨床検査関連研修会・講習会 (5)

<p>11月20(日) 14:00～17:00</p> <p>独立行政法人 静岡県立総合病院 6階 つつじホール講堂</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p>平成28年度 第3回生物化学分析部門研修会</p> <p>14:00～14:50 講演1「甲状腺疾患検査と最近の話題」</p> <p>演者 東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部 丸尾 直子先生</p> <p>14:50～15:40 講演2「間質性肺炎と臨床検査-KL-6を中心に」</p> <p>演者 栄研化学株式会社 営業統括部 マーケティング1部1課 佐久間 誠先生</p> <p>15:40～15:50 休憩</p> <p>15:50～17:00 講演3 「自動分析装置に供給する 純水の基礎と検査への影響」</p> <p>演者 メルク株式会社 金沢 旬宜先生</p> <p>依頼項目が飛躍的に倍増している話題の甲状腺疾患・間質性肺炎検査において、メーカーの視点、ユーザーからの問い合わせの多い観点に着目して講演して頂きます。また、昔から純水装置には労力を必要とする定期的メンテナンスを伴い女性の多い職場環境において改善を求められてきました。今までに無い原理の装置を解説して頂きます。新人技師からベテラン技師まで納得出来る内容を網羅し日常業務だけでなく緊急検査業務でも役立つと思います。院内に向けて発信するアピールポイントの機会にもなりますので是非ご参加下さい。</p> <p>県立総合病院駐車場の駐車券を無料措置しますので提出して下さい。</p> <p>事前の申し込みの必要はありません。 直接会場にお越しください。</p>	<p>No. (160021875) 専門-20点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>磐田市立総合病院 臨床検査技術科</p> <p>春口 公哉</p> <p>TEL 0538-38-5000 (内線 2710)</p> <p>iwata-seikagaku@ key.ocn.ne.jp</p>
--	--	--

臨床検査関連研修会・講習会 (6)

<p>11月23日(水・祝) 9:30～12:30</p> <p>静岡県男女共同 参画センター あざれあ</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p>平成28年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会</p> <p>参加者受付 (9:00～) [6F 大ホール]</p> <p>1. 開 会 (9:30～)</p> <p>2. 挨拶 静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会委員長 田内 一民 静岡県臨床衛生検査技師会長 山口 浩司</p> <p>3. 分科会 (9:45～) 1) 臨床化学検査部門 [6F 大ホール] 2) 血液検査部門 [5F 501会議室] 3) 微生物検査部門 [5F 502会議室] 4) 輸血検査部門 [5F 第3会議室] 5) 病理検査部門 [5F 504会議室]</p> <p>4. 全体会議 (11:00～) [6F 大ホール]</p> <p>5. 総 括 (12:15～) [6F 大ホール] 静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会委員長 田内 一民</p> <p>6. 閉 会 (12:30)</p> <p>会員は会員証カード(2012年4月以降発行のもの)を 必ず持参して下さい。</p> <p>※ 当日は、駐車場がありませんので、 公共交通機関をご利用下さい。</p>	<p>No. (160021730) 基礎-20点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>磐田市立総合病院 清水 憲雄 TEL 0538-38-5000</p>
--	---	--

臨床検査関連研修会・講習会 (7)

<p>平成 29 年 2 月 19 日 (日)</p> <p>10 : 00 ~ 17 : 00 (受付 9:30~)</p> <p>グランシップ 10F 会議室 1001</p> <p>会員 6,000 円 賛助会員 6,000 円 非会員 10,000 円</p>	<p style="text-align: center;">第 17 回 静岡血液フォーラム</p> <p><テーマ> 症例から臨床に役立つ知識を学ぼう！</p> <p>第 1 講演 『 症例から学ぶ検査血液学 』 愛知医科大学 血液内科 教授 高見 昭良 医師</p> <p>第 2 講演 『 症例から学ぶフローサイトメトリーの 読み方 』 沖縄赤十字病院 医療技術部 臨床検査課 大川 有希 技師</p> <p>第 3 講演 ランチョンセミナー (積水メディカル(株))</p> <p>第 4 講演 『 骨髄の実践的見方 』 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部 井本 清美 技師</p> <p>第 5 講演 『 造血器腫瘍における 細胞遺伝学的検査の基礎と臨床的意義 』 株式会社 ビー・エム・エル総合研究所 園山 政行 技師</p> <p style="text-align: center;">事前申し込み制 (FAX 055-924-5127 にて申し込み) 定員 先着 150 名 申込み期間 10/15 より 12/15 まで</p>	<p>No. (160020717) 専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】 フォーラム問い合わせ先</p> <p>JOHO 三島総合病院 臨床検査部 大橋 勝春 TEL 055-975-5545</p> <p>申し込み問い合わせ先</p> <p>沼津市立病院 臨床検査科 勝又 ちとみ TEL 055-924-5100</p>
--	--	---

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい。
台風など天災の影響により開催が危ぶまれる場合は、必ずホームページでご確認下さい。

重要なお知らせ（お詫び）

8月、9月の静臨技ニュースの行事予定欄に、10月22日（土）開催の『平成28年度 第3回 臨床血液部門研修会』の会場を誤って静岡県立総合病院と表記してしまいました。正しくは静岡市立静岡病院です。（下記行事予定をご参照下さい）皆様に多大なご心配、ご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

平成28年10月・11月・12月の行事予定

10月

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1日（土）平成28年度 第2回 臨床生理部門研修会 | : 静岡市立静岡病院 |
| 7日（金）西部地区技師長会議・並びに西部支部会 | : プレスタワー |
| 15日（土）平成28年度 第2回 微生物部門研修会 | : 静岡赤十字病院 |
| 22日（土）平成28年度 第3回 臨床血液部門研修会 | : 静岡市立静岡病院 |
| 24日（月）静臨技常務理事会、理事会 | : 技師会事務所 |
| 26日（水）減塩・低カロリー打ち合わせ会 | : 浜松医師会館 |
| 28日（金）浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会 | : 口腔保健医療センター |
| 29日（土）伊豆市社会福祉大会 | : 修善寺生きいきプラザ |

11月

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| 5日（土）～6日（日）
中部圏支部 第23回 臨床微生物部門研修会 | : ヤマハリゾート つま恋 |
| 6日（日）平成28年度 「検査と健康展」 | : アピタ 静岡店 |
| 12日（土）平成28年度 第2回 臨床一般部門研修会 | : 静岡市産学交流センター |
| 20日（日）平成28年度 第3回 生物化学分析部門研修会 | : 静岡県立総合病院 |
| 23日（水・祝）静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会 | : あざれあ |
| 27日（日）減塩・低カロリープロジェクト 2016 | : 浜松市医師会館 |

12月

- | | |
|--|---------------|
| 9日（金）日臨技 中部圏支部幹事会 | : 金沢市 |
| 10日（土）～11日（日）
平成28年度 日臨技中部圏支部学会（第55回） | : ホテル金沢 |
| 17日（土）～18日（日）
検体採取指定講習会（実務委員担当：静岡県） | : 名古屋市立大学附属病院 |